

## 下開発茶臼山9号墳出土品が 県指定文化財に指定されました

1月29日に開かれた石川県文化財保護審議会で、能美市の下開発茶臼山9号墳出土品1656点を県指定文化財（有形文化財・考古資料）に指定するよう答申が出されました。これを受けて石川県教育委員会での決定を経て2月12日付けで正式に県指定文化財となりました。

は緑が丘にある直径約17mの円墳で、5世紀前半に造られました。2つの埋葬施設から大量の副葬品が出土し、全国的にも希少な型式の甲冑や色とりどりの美しい玉類、県内最多となる豎櫛など内容も豊かであることから、石川県の古墳時代史を知る上で重要な考古資料と評価されました。



県指定文化財 下開発茶臼山9号墳出土品（玉類）  
今回の指定により能美市の県指定文化財は4件となりました。

## 令和2年の町会・町内会長をお知らせします

地域の世話役として、また住民の皆さんと市役所を結ぶ大切なパイプ役として活躍されている町会・町内会長は、まちづくりをよりスムーズに進めていく上で、要となる方々です。

今年お世話いただく各町会・町内会長74名のお名前を掲載します（敬称略）。

| 町名     | 氏名     | 町名   | 氏名     | 町名   | 氏名     |
|--------|--------|------|--------|------|--------|
| 赤井町    | 橋本 哲治  | 佐野町  | 辰巳 平一  | 倉重町  | 安川 豊章  |
| 西任田町   | 南 淳一   | 泉台町  | 加藤 綾子  | 出口町  | 中正 樹   |
| 五間堂町   | 澤田 信春  | 湯谷町  | 西田 啓   | 辰口町  | 畔田 保之  |
| 中庄町    | 築田 康平  | 石子町  | 中 誠    | 湯屋町  | 坂本 茂   |
| 福岡町    | 吉田 猛志  | 末寺町  | 松本 幹夫  | 上徳山町 | 大江 勉   |
| 西二口町   | 山本 憲宏  | 秋常町  | 本 利隆   | 下徳山町 | 竹本 孝志  |
| 中ノ江町   | 南 昭憲   | 新保町  | 田中 正人  | 上開発町 | 徳田 邦彦  |
| 高坂・根上町 | 米田 良三  | 粟生町  | 重田 勝年  | 下開発町 | 東 良雄   |
| 下ノ江町   | 福田 健一郎 | 三道山町 | 中西 紀三夫 | 徳久町  | 喜多 典男  |
| 浜開発町   | 澤田 祐司  | 吉光町  | 油 和之   | 荒屋町  | 喜多 外茂二 |
| 大成町    | 川越 清一  | 東任田町 | 佐々木 純樹 | 高座町  | 中田 浩一  |
| 福島町    | 大石 良能  | 緑町   | 木津 衛   | 下清水町 | 中川 功市  |
| 吉原町    | 熊本 順生  | 和佐谷町 | 谷本 二郎  | 上清水町 | 石田 憲雄  |
| 吉原釜屋町  | 笹木 和弘  | 岩本町  | 中田 勉   | 北市町  | 平野 公治  |
| 大浜町    | 亀田 忠幸  | 灯台笹町 | 山下 正幸  | 和気町  | 東 尚良   |
| 中町     | 山先 満広  | 大口町  | 小坂 保司  | 和光台  | 本田 貫太  |
| 浜町     | 中村 光雄  | 宮竹町  | 橋場 里志  | 寺島町  | 川本 清明  |
| 道林町    | 松田 賢一  | 三ツ口町 | 村上 信男  | 館町   | 中田 良明  |
| 山口町    | 山崎 正典  | 長滝町  | 中川 秀和  | 金剛寺町 | 長谷川 俊寛 |
| 寺井町    | 米脇 強   | 筋生町  | 元村 紀人  | 坪野町  | 高田 浩   |
| 小長野町   | 山本 俊光  | 岩内町  | 伴場 博夫  | 鍋谷町  | 中嶋 敏一  |
| 大長野町   | 西田 外喜夫 | 火釜町  | 田甫 邦人  | 仏大寺町 | 向出 裕行  |
| 小杉町    | 北村 司   | 来丸町  | 東出 春夫  | 緑が丘  | 池田 秀一  |
| 末信町    | 東森 正則  | 山田町  | 和多 智   | 松が岡  | 南 盛二   |
| 牛島町    | 竹本 敏晴  | 三ツ屋町 | 宮下 敏広  |      |        |

## ラッピングごみ収集車が市内を巡回します

有限会社クリーンウエストと松山商店が、能美市ラッピング広告事業を活用し、それぞれ1月23日と2月4日にひば能んとゆず美んのイラストをラッピングしたごみ収集車を披露しました。車両にはごみ分別を呼びかけ、環境美化意識向上を促すイラストがラッピングされており、市内を



巡回することで、市民の環境意識向上が期待されます。

写真①クリーンウエストラッピング収集車  
写真②松山商店ラッピング収集車

## 「のみバス」の見直しに伴う無料運行の実施

### 期間

令和2年4月1日（水）～5月6日（水・祝）

「のみバス」は、令和2年4月に大幅な運行見直しを行います。「わかりやすさ」・「便利さ」・「スムーズさ」に重点を置いた新しいルートとダイヤで4月1日から運行します。土・日曜、祝日限定で新しく観光ルートもできます。上記の期間「のみバス」全路線を乗車無料としますので、この機会にぜひご利用ください。

問い合わせ  
地域振興課（☎ 58-2212 FAX 58-2291）



## 火災防ぎょ訓練を実施

文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を1月26日午前8時から辰口温泉総湯里山の湯（辰口町）に隣接する集福寺付近一帯で実施しました。

訓練は能美市有形文化財「石造地藏菩薩座像」が納められている集福寺延寿殿を警戒して守り、高低差がある遠距離の送水を実施して延焼を食い止めるという想定で行いました。



関係機関が連携し、火災発生時の対応を確認しました。

## 保育士会で初の手話講座を開催

2月7日、能美市保育士会が粟生保育園で初の手話講座を開催し、100人以上の保育士が参加しました。

講座は全3回を予定しており、この日は、手話講師の新田照予さんを招き、手話や聴覚障がいへの基礎知識を学びました。保育園で使用する日常生活を学ぶことで、園児や保護者とのコミュニケーション

にいかし、保育力の向上を目指します。



息子の保育園の苦勞した経験を伝える新田さん